

平成 28 年度

公益財団法人駒ヶ根市文化財団

事業計画及び予算書 (案)

(公財) 駒ヶ根市文化財団

# 公益財団法人 駒ヶ根市文化財団

## 平成28年度 事業計画概要 (案)

公益財団法人駒ヶ根市文化財団は、駒ヶ根市との指定管理に関する協定に基づき、生涯学習・文化芸術の拠点施設である駒ヶ根総合文化センター及び天竜かっぱ広場の管理運営にあたります。

これまでに当財団が培った地域社会及び関係団体との信頼関係、更には専門的な知識や技術の集積と経験を活かし、関連施設全体のより一層の効率的・有機的な運営に努め、市民サービスの向上を図るとともに、更なる教育環境の充実と文化芸術の振興を図られるよう努めてまいります。

また、当財団は、公益財団法人への移行を自己変革の良い機会と捉え、法人運営の在り方や事業内容の見直しを進めておりますが、今後も、自己改革の手を緩めることなく、皆様の期待に応えられるよう、なお一層の資質向上を図ってまいりますので、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

なお、本年度は、市指定管理者として再指定され初年度となりますが、駒ヶ根総合文化センター及び天竜かっぱ広場ともに指定期間は平成32年度までの5年間であります。

### 運営方針(サービスに関する基本的な考え方)

#### 1 生涯学習・文化芸術の拠点施設としての総合文化センター

図書館、博物館、文化会館、勤労青少年ホーム及び女性ふれあい館から成る総合文化センター全施設の融合を図るとともに、市内の社会教育機関等との連携を図りながら、利用者の声を大切にし、真の市民の生涯学習・文化芸術の拠点となるよう、指定管理者として効果的・効率的な運営に努めてまいります。

平成28年度は、総合文化センター開館30周年を迎えますが、今年度も引き続き、当財団の強みの一つである複合施設のメリットを活かしながら、各館連携のもと、多様な学習機会を提供できるよう、各種事業に取り組んでまいります。

なお、経年による施設・設備の老朽化が進んでいるため、業務に支障の生じないよう計画的に改修等を実施するとともに、長期改修(リニューアル)計画の見直しを図ってまいります。

#### 2 文化会館

- \* 年度協定で定められた予算の範囲内で自主事業を計画し、市民に優れた芸術鑑賞の機会を提供します。年間25本程の事業を実施し18千人の観客動員を目指します。
- \* 開館30周年記念の事業として「市民企画・公募型事業」を広く市民より募り、多くの市民が参加、鑑賞できる舞台芸術を支援します。
- \* これまでの演目見直しの努力を継続し、有識者からの意見聴取及び利用者アンケートなどにより市民要望を的確に把握しながら、安価で質の高い芸術性豊かな公演等を提供します。
- \* 地元出身者による公演や市民参加型事業に力を入れるとともに、特定分野に偏ることなく、

子どもからお年寄りまでの幅広い年代層に足を運んでいただけるよう取り組みます。

- \* 次世代の育成に目を向け、ジュニア市民(子ども達)が参加できる事業の充実を図ります。
- \* 施設の貸付にあたっては、公益性の高い市民的行事等は優先的に受け付け、市の減免基準に基づき利用料を減免しながら、市民の利用しやすい環境づくりに努め、施設の稼働率を高めます。自主事業を含めた年間の利用者目標を 65 千人とします。

### 3 図書館

- \* 一般図書と専門図書の均衡ある収集に努め、図書資料の充実を図りながら、あらゆる利用者の学習ニーズに対応します。蔵書目標は 184 千冊、年間貸出は 210 千冊を目標とします。
- \* 業務に精通した有資格職員の配置を進め、レファレンスサービスの充実、図書館ネットワークの効果的な活用によりサービスの質を深めます。
- \* 第2次駒ヶ根市子ども読書活動推進計画に基づき、学校などの関係機関や地域社会と連携協力しながら読書教育を推進します。ブックスタート事業及びセカンドブック事業を中心とした乳幼児健診時指導の充実を図るほか、幼稚園保育園巡回絵本、就学期児童へのお薦め本リスト(サードブック)の配布と読書指導など、子どもの発達段階に対応したきめ細かい読書普及活動を展開します。
- \* 地域資料、貴重資料のデータベース化を図り、公開することにより、利用者のニーズに合った情報サービスを目指します。
- \* 総合文化センター開館30周年に伴う記念講演会の実施と、施設設備の改修改善を実施し、より快適な図書館環境にしていきたいと思います。

### 4 博物館

- \* 収蔵する約 127 千点の貴重な郷土の民俗・歴史資料並びに自然資料を適正に保管し次代に継承するとともに、これらの資料を有効に活用し、市発展の手がかりとなるよう、調査研究、公開展示、教育普及事業を専門性と継続性をもって実施します。
- \* 複合施設の利点を活かしつつ、関係機関や市民研究団体等と連携し、講座や展示の充実を図り市民に郷土研究、学習の場を提供します。また、これらの活動を通じ、郷土の文化財や自然に対する理解、保存の意識の高揚に努めます。
- \* 市内芸術家との協働事業である「駒展」などの企画に取り組むほか、新たに「ジュニア駒展」を立ち上げ、子どもたちの芸術活動を推進していきます。
- \* 展示室及び展示ロビーを市民の発表の場として活用し、文化芸術の発信基地としての事業の充実を努めます。
- \* 指定文化財の利活用、文化財及び自然等に関する調査研究活動、専門調査員の知見に基づく文化財保護施策への助言等、市教育委員会と緊密に連携し、市文化財行政を支援します。

### 5 勤労青少年ホーム・女性ふれあい館

- \* 勤労青少年及び女性の就業支援(スキルアップ)、生活支援(家庭生活の充実)のため、利用者のニーズの把握に努めながら、趣味、教養、技能、健康づくりなどの講座を開設します。年間 30 講座、受講者数(定員)450 名を目標とします。講座開設にあたっては、商工会議所等の関係機関との連携を図ります。

- \* 勤労青少年及び女性の自主的な学習活動を支援するため、サークル(クラブ)を育成し、活動の場を提供し、必要に応じて助言指導します。登録団体数は50団体、登録者数は500名を目標とします。  
その際、サークルが独自の活動のみで終わってしまうことのないよう、自主運営の「利用者の会」を組織して、世代を超えた利用者相互の交流を促し、更には社会貢献活動にも取り組めるよう配慮します。
- \* 貸館利用を含めた年間利用者数の目標を30千人とします。
- \* 勤労青少年福祉法等の改正に伴う駒ヶ根市勤労青少年ホーム条例等の改正に対応して、関係する施設の管理運営に当たります。

## 6 天竜かっぱ広場

- \* 「かっぱ」に関連した作品や資料を収集し、その収蔵資料を活かした親しみやすい展示を企画するとともに、他の教育機関や産業・観光施設などと連携しながら利用の促進を図ります。  
年間有料入館者の目標を2,200人とします。
- \* 市民が郷土の文化や自然への理解を深め、家族のきずなを深め、地域コミュニティの充実を図れるよう、親子ふれあい講座、ミニほっと講座及び歴史講座を積極的に開催します。  
ミニほっと講座は、地域の交流の場となるよう利用者の要望に応じながら年5回程度、親子ふれあい講座は年5回程度、歴史講座は年2回ほどの開設を目標とします。
- \* 地域住民組織や観光協会と連携しながら、竜東の玄関口にある立地の良さを活かして、地域行事、体験交流型イベント及び観光案内に協力・参画し、地域振興に貢献できるよう取り組みます。

## 7 財団奨励賞

- \* 平成15年度より、文化振興事業積立資産(旧財団基金)の運用益を基とする「財団奨励賞」の事業を実施しています。今年度も、駒ヶ根市における文化芸術の振興と文化的環境の充実を図るため、文化芸術に貢献し、実績のある個人・団体を顕彰します。  
また、青少年の文化芸術振興を図るため、「ジュニア駒展」開催について検討してまいります。

## 8 その他

- \* 市民の憩いの場であるすずらん公園「平和の森」の景観整備を図ります。
- \* 施設、設備の適切な管理・保全に努めます。

平成28年度 駒ヶ根市文化会館自主事業計画及び収支見込(案)

公演日	演目	文化会館事業費				文化会館事業収益				合計		
		山渡料・負担・補助金	諸経費	広告宣伝費	合計	入場料金/席種	入場者	チケット収入	その他収入			
市民参加型	6月5日(日) 第29回郷土芸能まつり	負 200,000	0	0	200,000	自由	無料	800	0	200,000	200,000	
	11月27日(日) 第57回 駒ヶ根市民音楽祭	負 200,000	0	0	200,000	自由	無料	800	0	200,000	200,000	
	4月~1月 むっつのを ジュニア和楽器隊		0	0	0	自由	無料	15	0	0	0	
	8月~2月 A-Stock Theater Komagane事業	補 1,000,000	0	0	1,000,000	自由	500	1,000	0	1,000,000	1,000,000	
教育/育成型	7月1日(金) アンサンブル信州in宮田鑑賞教室	0	0	0	0	鑑賞	無料	700	0	0	0	
	8月7~12日 駒ヶ根高原音楽祭マスタークラスコンサート	0	0	0	0	自由	1,000	500	0	0	0	
	9月19日(月) ピアノ物語第3章	0	20,000	150,000	170,000	自由	1,000	600	0	170,000	170,000	
	11月10日(木) 劇団四季ミュージカル鑑賞教室	0	300,000	0	300,000	鑑賞	0	650	0	300,000	300,000	
	1月15日(日) 優秀映画鑑賞事業	0	50,000	100,000	150,000	自由	500	100	50,000	100,000	150,000	
	3月 和楽器のオーケストラ むっつのを	出 1,000,000	200,000	200,000	1,400,000	一般 学生	2,000 500	300 50	600,000 25,000	0	775,000	1,400,000
育成型	7月18日(祝) 伊南子ども劇場共催事業『朗読劇夏の雲を忘れない』	負 650,000	50,000	50,000	750,000	自由	無料	950	0	750,000	750,000	
	9月11日(日) 音楽文化協会共催事業『武蔵野音楽大学オーケストラ』	負 250,000	0	0	250,000	自由	3,000	600	0	250,000	250,000	
鑑賞型	6~8月 女の会事業(観劇ツアー他)	0	800,000	0	800,000			0	700,000	100,000	800,000	
	7月26日(火) フォレストコンサート	出 4,000,000	300,000	300,000	4,600,000	指定	5,000	900	4,500,000	100,000	4,600,000	
	8月22日(月) ベンチャーズジャパンツアー2016	0	0	0	0	指定	6,000	600	0	0	0	
	10月18日(火) セイジ・オザワ 松本フェスティバル スクリューコンサート	負 1,000,000	0	0	1,000,000	自由	無料	600	0	1,000,000	1,000,000	
	12月14日(水) 家入レオ 5thワンマンツアー2016	出 6,500,000	500,000	350,000	7,350,000	指定	5,500	950	5,225,000	100,000	7,350,000	
	11月18日(金) 劇団四季ミュージカル『ウェストサイドストーリー』	出 5,000,000	350,000	350,000	5,700,000	指定	4,000	850	400,000	20,000	5,700,000	
	7月1日(金) アンサンブル信州in宮田 第14回定期演奏会	負 500,000	0	0	500,000	S A B 一般 学生	8,000 6,000 5,000 3,000 2,000	500 300 50 600 100	4,000,000 1,800,000 250,000 0 0	10,000	740,000	6,800,000
	8月6日(土) 駒ヶ根高原音楽祭 第3回オーブニングガラコンサート	負 500,000	0	0	500,000	自由	1,000~	450	0	0	500,000	500,000
	11月23日(水) 郷屋論委コンサート	0	0	0	0	S A B	4,000 3,000 2,000	400 250 50	1,600,000 750,000 100,000	60,000	10,000	2,520,000
	1月 駒ヶ根落語会	出 2,160,000	10,000	350,000	2,520,000							
公演型	通年 市民企画・参加公募型	負 2,000,000	0	0	2,000,000			0	0	2,000,000	2,000,000	
	共通経費・その他収入	0	700,000	0	700,000			0	0	700,000	700,000	
	出 24,060,000											
	負 6,150,000											
	補 1,000,000											
	計 31,210,000											
	合計		5,230,000	2,150,000	38,590,000			18,815	21,300,000	1,290,000	38,590,000	

28年度事業の特色

1. 地元演奏家及び地元出身者の出演(佐野成宏氏、駒ヶ根落語会での春風亭愛橋さん出演・地元演奏家によるコンサート)
2. 市民参加型事業の充実(郷土芸能まつり・市民音楽祭・ジュニア和楽器隊)
3. 幅広い年代層への会館利用の促進(ポップスコンサート・演劇・ミュージカル・演歌)
4. 幅広い文化の公演(アンサンブル信州・むっつのを)
5. 地元鑑賞団体との共催事業(伊南子ども劇場・駒ヶ根音楽文化協会)
6. 会員向け観劇バスツアーの企画

# 開館 30 周年記念

## 駒ヶ根市文化会館 市民企画公募型事業について

平成 28 年度に駒ヶ根市文化会館は、開館 30 周年を迎えます。そこで、開館 30 周年記念事業として、市民の皆さんからの企画を募集いたします。多くの市民が参加、又は鑑賞できる舞台芸術をお寄せ下さい。

- 対象事業 音楽、演劇、舞踊、伝統芸能など一般的な舞台芸術
- 実施場所 駒ヶ根市文化会館、大ホール又は小ホール
- 事業内容 企画・立案から市民が携わり、多くの市民が参加し、制作・発表又は鑑賞する公共性の高い事業

### 以下の事業は対象外となります

- ◇ 特定の政治結社・政治政党又は宗教等に関する企画
  - ◇ 学校行事・塾・音楽教室などの企画、発表会
  - ◇ 収益を目的とした営利目的の濃い企画
  - ◇ 他の公益団体等から、補助金・委託を受けている事業
  - ◇ 特定の団体による特定の会員のみの企画
  - ◇ 個人自らのために行う企画
- 応募資格 駒ヶ根市に在住・在勤する個人又は駒ヶ根市民が半数以上所属し、活動拠点が駒ヶ根市である団体
  - 応募方法 申請書【様式 1】、企画書【様式 2】、応募団体の概要【様式 3】、並びに事業予算書【様式 4】を作成し提出して下さい（直近の会計報告を添付）

提出先 〒399-4115 駒ヶ根市上穂栄町 23 番 1 号  
(公財) 駒ヶ根市文化財団 理事長 小原恒敏 宛  
電話 83-1130 FAX 83-0826

- 公募期間 平成 28 年 3 月 1 日～同年 5 月 31 日
- 実施期間 平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日
- 審査方法 (公財) 駒ヶ根市文化財団理事会による審査  
【必要によりヒヤリングを実施致します。結果については書面にて通知致します】

- 費用負担 次の経費については、文化会館が負担いたします。
  - ◇ 駒ヶ根市文化会館における利用期間中（上限 3 日間）の利用料【ホール及び付属施設・器具備品の利用料。但し冷暖房費は除く】。
  - ◇ 共催負担金として、50 万円を上限に費用の一部を負担致します。
 ※チケット等の収入については、会館へ納付いただく必要はありません。なお、事業実施後費用における収入の割合が過大である場合には、負担金の減額あるいは取り消す場合があります。
- 留意事項 次に掲げる事項が判明した場合内定の取り消し、又は事業を中止する事があります。
  - ◇ 提出された企画内容に著しい虚偽が見つかった場合
  - ◇ 応募者が、破産宣告を受けている場合
  - ◇ 応募者が、刑事告訴された場合
  - ◇ 事業の実施にあたって、財団の指示した事項に従わない場合
- 事業報告 事業実施後 30 日以内に補助活動実績報告書【様式 5】・事業収支報告書【様式 6】（領収書の写し・チラシ、プログラム・記録写真を添付）を提出して下さい。審査後、負担金額を確定し支払います。

#### 文化会館概要

大ホール	客席	【固定席 978 席＋車いす席 8 席】
	舞台	【間口 14m 奥行 12m 高さ 7m】
小ホール	客席	【移動席 200 席】
	床面	【フローリング 広さ約 21m×14m】

#### 問い合わせ先

〒399-4115

駒ヶ根市上穂栄町 23 番 1 号

駒ヶ根市文化会館

電話 0265-83-1130 FAX 0265-83-0826

1 資料の収集と提供に努める

- ◎地域資料や行政資料の積極的な収集と整理、市や地域・郷土情報の充実
- ◎データベース化（デジタル化資料）の順次導入移行を行い、将来への適性保存を図る  
（導入済：信濃毎日新聞・国立国会図書館、導入予定：法規関係、導入検討：朝日新聞／新聞現物資料の保管庫満杯に近い）
- ・各分野の基本図書の充実
- ・利用者の要求や社会的な動向をふまえた資料の収集整備（多文化・IT・就業支援・観光情報・障がい者・高齢者関係等）
- ・閉架書庫資料の見直しと整理（県内図書館と連携し各館で分野ごと分担保存）、貴重資料の点検や修繕
- ・加島文庫（中沢区「加島祥造」氏寄贈）の継続整備

2 「第二次駒ヶ根市子ども読書活動推進計画」に基づき、児童サービスの充実を図る

- ◎「家族読書の日（毎月第3水曜日）」を周知・普及し、関係機関と連携しての読み聞かせや読書活動の推進と啓発を図る
- ◎小学校新入生への「サードブック」事業（学校・学校司書と連携、おすすめブックリストの配布）
- ・満6ヶ月児への「ブックスタート・はじめての本」事業（読みきかせ実演と保護者への啓発、絵本プレゼント）
- ・満2歳6ヶ月児への「セカンドブック」事業（読みきかせ実演と保護者への啓発、絵本プレゼント）
- ・「よみーくちゃん巡回」事業（保育園・幼稚園間の絵本巡回）
- ・おはなし会（乳幼児対象・小学生対象）他、各事業の実施（紙芝居会、お楽しみ会／読書週間・クリスマス・春をよぶ）
- ・おはなしお出かけ図書館（出前事業）による読み聞かせの実施  
（保育園・幼稚園・学校・公民館分館・地域自治組合・育児サークル・子ども交流センター等への出前事業）

3 利用者に応じたサービスを充実し、親しみやすく魅力ある生涯学習の場としての図書館を目指す

- ◎レファレンス（調べ事・相談依頼）に応えられる資料の整備と職員の資質向上（きめ細かな利用者サービスの提供）
- ・インターネット予約の周知・利用促進
- ・毎月のコーナー展示（時事話題等の特集展示、関連本の特集展示）
- ・年齢やテーマに応じた資料の配架、新刊案内等の利用しやすい工夫
- ・研修会、夏休み親子教室、四季のおはなし会（一般成人対象）の開催
- ・情報コーナーの提供（利用者用閲覧パソコンで各データベースが閲覧・印刷できることを周知）

4 関係機関との連携・協力を図る

- ◎移設開館30周年記念事業を、文化会館・公民館等と連携して実施（講演会を予定）
- ◎公共図書館と学校図書館（7校）をネットワーク化していることによる資料の共有化と情報交換の促進と合わせて、子ども読書活動の一層の推進
- ・公共図書館間の相互貸借（自館にない書籍の貸し借り）の活用
- ・地域の読書グループ・文庫・子育て団体等への情報の提供と共有

5 市民の図書館となるよう努める

- ◎館案内等の情報発信・広報宣伝  
ホームページ内容を精査・すみやかに更新をし、タイムリーな情報発信と細やかな案内を行う。市報こまがね・テレビ図書館（図書館番組）・図書館だより（館広報紙）・フェイスブック等を活用し、幅広く館情報の発信を行う
- ◎中沢・東伊那分館の資料の充実・見直しを行い、分館利用者層の拡大・利用促進を図る
- ◎利用者や図書館協議会委員及び関係各団体からの意見や提言の反映
- ◎館内設備（椅子・机・配架等）の見直しを行い、利用者が過ごしやすく、目的資料が探しやすい環境整備

6 目標値に向けてサービスに努める

蔵書数（登録資料＋教科書資料＋未登録図書）

	25年度	26年度	27年度(予定)	28年度(予定)
蔵書冊数	183,776	185,598	187,000	188,000
貸出冊数	203,942	202,010	205,000	207,000

7 その他

- ◎「館システム入替え」（26年11月より稼働）後のシステム安定運営の確立
- ◎「雑誌スポンサー制度」を活用して雑誌資料の増加・充実

# 平成28年度博物館事業計画

駒ヶ根市立博物館

市民が自ら郷土の歴史や文化、自然などについて学ぶための資料の整理・収集に努めるとともに、文化・芸術活動の発表の場としての施設の運営に努めます。

市内教育機関との連携、複合施設としての利点を活かした文化財講座や歴史探訪など、講座の実施、展示の充実を図る。

これらの活動を通じ、郷土の文化財や自然に対する理解や保存の意識の高揚に努めます。

さらに、「長野県美術展・全国展出品作家による駒展」を開催するとともに、新たに「ジュニア駒展」を企画し、文化芸術の発信基地として事業の充実を図る。

おもしろかっぱ館や公民館、市内の小中学校との連携による教育普及活動を展開する。

## 1 展 示

- ・ 博物館資料による企画展を年3回ほど実施する。  
光前寺御開帳の年に当たるので、県宝指定の仏画を中心とした「光前寺仏画展」を開催する。  
夏休みに合わせて好評な「カブトムシ」などの生態展示を中心とした「昆虫展」を行う。  
「市内の文化財・歴史」に関する展示、館収蔵品展、ロビーを利用した「見て・触れて・体験できるーわくわく博物館ー」（小テーマ）による展示活動を行う。  
「駒展」が15回の節目に当たりますので、新たに市内の児童を対象とした「ジュニア駒展」を立ち上げます。これは駒ヶ根市文化財団の芸術活動の育成事業として継続して行う。
- ・ 郷土の歴史や文化の研究団体、自然保護団体などとの共催展示
- ・ 市内文化サークルなどの発表の場の提供

## 2 教育普及活動

- ・ 「古文書講座」、「郷土を知る会」を中心とした歴史・文化財講座などを実施する。
- ・ 市民などからの地域に関するレファレンスに、十分に対応できる体制づくりを進める。
- ・ かっぱ館の親子ふれあい事業への協力や公民館の講座との連携と調整
- ・ 各種団体の研修への講師の派遣や文化財見学などへの資料提供や案内
- ・ 資料の貸し出し、展示施設の解説・案内などを通じ、学校教育と積極的に関わり、郷土への興味や愛着を図る

## 3 資料整備

- ・ 考古資料は、収蔵庫を開放展示しておりますが、見学し易くなるよう収蔵庫の整理を進める。
- ・ 収蔵図書資料や古文書類の活用のための目録作成整備を行う。
- ・ 専門研究員による資料収集の充実を図る。

## 4 市文化財関係事業への助言並びに協力

- ・ 埋蔵文化財の調査協力
- ・ 名勝光前寺庭園整備計画に基づく事業に伴う調査や市民向け現地見学会への協力
- ・ 市文化財指定に関わる調査への協力

◎働く青少年及び働く女性に対して、日々の余暇を利用し、憩いやスポーツ・レクリエーション・文化教養等、余暇活動の場を積極的に提供し、身近で使いやすい施設を目指すとともに、社会人・職業人としての役割を積極的に果たすための、知識や能力を体得する場としての機能を持つことをねらいとする。

ホームの理念 『学び—憩い—集い—社会参加』

### 1 主催講座の開催

- ・勤労青少年・勤労女性の福祉向上に役立つ支援を行う。(相談・子育て支援等)
- ・職能取得、一般教養、趣味、健康、スポーツ等の内容で、ニーズをさぐりながら講座を開設する。また、昨年度も好評だった「簿記講座」や再就職を支援する講座について、継続開講できる様に検討する。
- ・前期・後期・単発のおよそ30講座を実施する。特に若いお母さんに好評な「ヨガ」、「リトミック」、「ピラティス」などの講座は前期・後期で開催し、多くの市民に受講していただく機会を設ける。

### 2 サークル(クラブ)の育成

- ・46サークル(クラブ)の利用室の調整等、明るく・楽しく・元気良く、活動しやすい場の提供、サークル内で起きた問題等の相談、また最近ではサークルメンバーの高齢化が目立つので、活動を継続出来る様に助言や協力を行う。
- ・一年間の学習の成果として、勤労青少年ホーム・女性ふれあい館合同での発表の機会(ホーム祭)を設ける。
- ・主催講座からサークル(クラブ)へ移行できる様、助言、フォローを行う。

### 3 利用者の会支援

- ・会員数 約460名

役員及びサークル代表者を中心として世代を超えた相互の交流を深め、全会員が協力し合って、元気で主体的に運営できるよう支援する。

#### ○事業内容

- ・全館清掃(5・11月の年2回実施)
- ・ホーム祭(11月)
- ・クリスマスの集い(12月)
- ・活動記録「なかま」の編集発行(3月)
- ・女性ふれあい館の視察研修、利用者相互の親睦事業の実施
- ・勤労青少年ホームの視察研修の実施
- ・その他、サークル交流会(随時)等の実施

## 平成28年度 おもしろかっぱ館 事業計画 (案)

### 活動の概要

- ・「かっぱ」の関連作品や資料を収集し、その収蔵資料を生かした親しみやすい展示を実施するとともに、他の教育機関や観光産業施設などと連携しながら利用の促進を図ります。
- ・市民が郷土の文化や自然への理解を深められるよう、親子ふれあい講座・ミニほっと講座・歴史講座を積極的に開催します。
- ・教育施設の枠にとどまらず、竜東地域の窓口としての立地を生かした地域振興に貢献できるよう取り組みます。

#### 平成28年度目標として

- ①年間有料入館者目標2,200人
- ②「親子ふれあい講座」の充実と実施
- ③「ミニほっと講座」の実施
- ④ 歴史講座の実施
- ⑤プチ観光案内所として特に竜東地区の観光案内に努める

### 主な事業計画

#### 1. 展示

- (1) 特別展「かっぱの掛け軸展」(4月～平成29年3月)
- (2) その他 地域の作品展示、スポット展示
  - ①天竜かっぱ祭り応募ポスター展示
  - ②各公民館活動の展示品

#### 2. 講座

##### (1) 親子ふれあい講座

日	曜日	講座内容	講師
6月4日	(土)	石ころペイント	かっぱ館職員
7月30日	(土)	星空観察会	日岐敏明先生
8月6日	(土)	昆虫採集と標本作り	田中邦治先生
9月3日	(土)	竹トンボ作り	予定
10月8日	(土)	こまかっぱ作り	堀内先生
11月12日	(土)	星空観察会	日岐敏明先生

##### (2) ミニほっと講座

- ・かっぱ館を一人でも多くの皆様に知っていただき、地域皆さんの交流の場として活用を図る為、簡単な手芸、絵画等の講座を行う

##### (3) 歴史講座 シルバー世代や歴史好きの男女を対象

- ・春 かっぱ伝説とかっぱ館(時代とそのあゆみ) (仮題) 5月21日(土) 講師 小島利昭さん
- ・秋 3代目中村新六と坂本天山について (仮題) 12月3日(土) 講師 未定

#### 3. 2年に1回の運営委員会の研修旅行の実施 10月17日 予定

平成26年度においては、参加者の都合で中止になりました。

#### 4. 地域社会との連携

- (1) ホタル祭り(ホタルとアヤメの里づくりの会) 6月17～19日
- (2) 天竜かっぱ祭り 8月27日(土) 予定
- (3) 中沢区「地域づくり委員会」 なかっぱ市 年2回 7月・9～10月
- (4) 歴史・風景・お花見・おいしい物・・・を楽しむフットパスに協力
- (5) その他